

高円寺学園 学園章検討部会 御中
杉並教育委員会事務局 学校整備課 御中

高円寺学園(仮称) 学園章デザインのご提案②

佐藤 真澄

女子美術大学短期大学部造形学科デザインコース研究室

2018.03.13

ご依頼内容に基づき、各案のバリエーションをご提案させていただきます。

[修正のご依頼内容]

A 案

- 線の太さを細くする
- 線を杉の葉にする・図中に杉を配する
- 円を入れ替える

E・J 案

- 文字を入れた図案

H・K 案

- 「KG」を漢字に変え、文字に合うようアレンジした図案

A・E・J・H・K 案 共通

- 「高円寺」や「KOENJI」だけでなく「高」という一文字を配した図案



二重のラインで表現された3つの円は、杉並区立第四小学校、杉並区立第八小学校、高円寺中学校が、それぞれ培ってきたものを大切に持ち寄り一緒に力を合わせていく姿、そして力強く表現した円弧は、家庭、地域、学校を表し、皆が一丸となって花咲かせるように、すばらしい学び舎を作り上げていく姿を表現しています。



原案



円弧の太さや表現を調整



円弧の上下関係を変更
※変化に乏しくなってしまう



杉のイメージを追加 1



杉のイメージを追加 2



「高」一文字に
※高校の校章に見えてしまう可能性あり



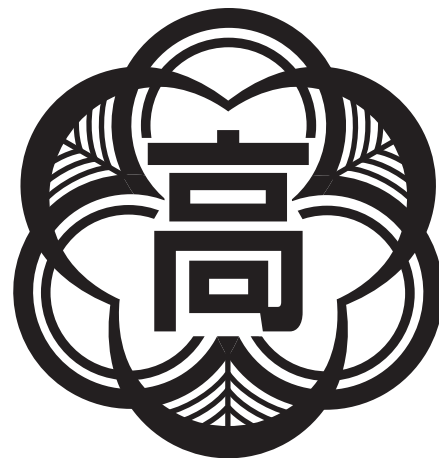
A-1



A-2



A-3



A-4

A 案の修正案について

A-1, A-2, A-3, A-4

・太い円弧の先端を徐々に細くする表現により、軽やかで華やかな印象にしました。

A-2, A-3, (A-4)

・図案中に杉の木を表現したものを2案ご提案します。

A-4

・「高」一文字を使用したものは、3つ(6つ)のモチーフが図の中心を基準に配されたデザインと相性が良いのですが、やはり高等学校の校章によく使用されている一文字なので、そのあたりの検討が必要と思われます。

※円弧の前後関係を変更したものは、図案としての魅力(複雑さや変化に富んだ様子)がなくなり面白さに欠けます。



3校が培ってきた歴史を背景に、それぞれ伸びやかに育ってきた生徒たちが手を取り合い、魅力ある新たな学び舎を作り上げていく様を表しています。
また、三方から立ち上がる杉の木を表現することにより、すぎっこたちが新しい学び舎に誇りを持ち、育っていく様を表現しています。



原案



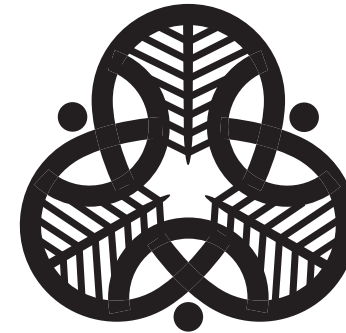
「高円寺」を配置



「高」を配置



「高学」を配置



英文表記を配置



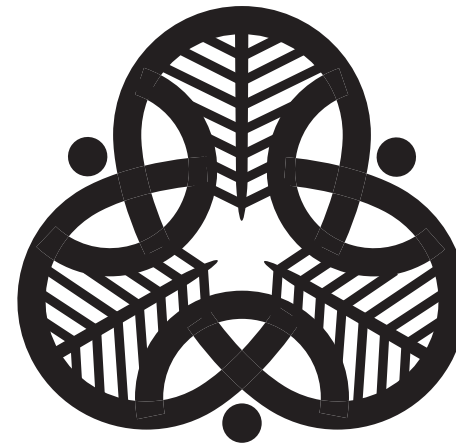
E-1



E-2



E-3



KOENJI GAKUEN

E-4

E 案の修正案について

E-1, E-2, E-3, E-4

・校名の日本語表記、英語表記をそれぞれ入れ、微調整しました。

※原案が中心に集中して行くデザインなので、文字の配置が難しくなっていますが、「高」一文字は中心にしやすく、一番しっくりいっていると思います。(または「高学」2文字)

※下部に英文を入れたものは、バッジにする場合は下記のようにすることが可能です。

ただ学園章という意味では、図案の内部に文字が配されている方が適しているとも考えます。





円という形は、人々が集まり協力しながら大きな力となっていく様子を表しています。そこに集まる人々は、3校の人々、家庭、地域、学校に関わる人々です。そしてみな杉並の子たちです。三方から立ち上がる杉の木のてっぺんには、みなが目指す星が輝いています。



原案



「高」一文字を配置



「KOENJI」を配置



英文表記を配置



J-1



J-2



J-3

J 案の修正案について

J-1, J-2, J-3

・「高」と英文表記を入れた案です。

※この図案は、円の中の世界観ができあがってしまっており、中に文字を入れるとその良さが損なわれるので、なるべく入れない方がよいと考えます。

その代わりに、円の外に英文を配した案も制作いたしましたが、これもあまりお勧めできないので、この図案に関しては文字を入れない方向で使用されることをご提案いたします。(校章や学園章には文字が入っていないものもございます)



エンブレム表現。盾の中の学園名の頭文字をそれぞれの学校、また家庭、地域、学校を表す3本のラインで囲み、力強い盾（学園）を表現しています。また、それを囲む円に学園の正式名称を記し、杉の葉を配しています。



原案



校名を日本語表記に変更



校名を日本語表記に変更し、両脇の杉の枝を杉並第四、第八小学校の校章に使用されている杉のイメージに合わせる



「高」一文字に変更



H-1



H-2

H 案の修正案について

H-1, H-2

- ・盾の中の校名を日本語表記にいたしました。
- ・両脇の杉の枝を杉並区立第四、第八小学校の校章に使用されている表現と合わせながら整理し図案化しました。

※エンブレムは西洋の紋章から由来しているため、エスカッション(盾)を中心とした図案内は欧文表記が主となっています。歴史的な由来やルールを踏まえた上で現代的に使用することが望ましいと考えます。但し、日本語表記の例がないわけではありません(東京都市大学附属小学校“日本の図案にアレンジされている”、青山学院女子短期大学)各大学等は校章とは別にコミュニケーションマークとして適したシーン用に和文の入った校章をエンブレムにアレンジしているところが多くあります。

※色指定はまだですが複数色を使用し、下記のように色の強弱のバランスを出したいと考えています。



など



三方から重なる三角形は、3校がそれぞれの力を持ち寄り協力して新しい形（学園）を作り上げていく様を表現しています。

また、この三角形は杉の木のシルエットにもなっています。頭文字のKGはモダンな表現にし、全体的に未来的なイメージになっています。



原案



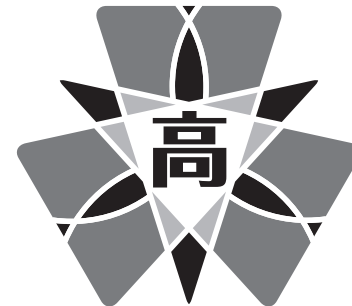
校名を日本語表記に変更



色面の強さのバランスを変更



輪郭線を追加



「高」一文字に変更



K-1



K-2



K-3



K-4

K 案の修正案について

K-1, K-2, K-3, K-4

- ・校名を日本語表記に変更しました。

K-3

- ・図案の周りに輪郭線を入れました。

K-2, K-4

- ・色指定はまだですが、複数色を使用し、色面の強弱のバランスを変更したバリエーション案です。

※バッジにする場合は下記のような形態で制作可能です。



以上です。

ご検討よろしくお願いたします。

何かご不明な点等ございましたらお問い合わせください。

佐藤真澄

女子美術大学短期大学部造形学科デザインコース研究室